

～富士見生の今を伝える～

コミュニティ通信 Neo



第8号
静岡県富士見高等学校
コミュニティ研究会

全国総体

女バレ

初のベスト8

8月1日から5日まで北海道釧路市で開催された令和5年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技女子において、本校女子バレーチーム米沢中央（山形）を2対0で破って決勝トーナメントに進み、1回戦で水上（兵庫）、2回戦で

横浜隼人（神奈川）に競り勝ち、3回戦で宮崎日大を2対0で下して、創部以来最高となる初の全国準々決勝では進徳女（広島）に屈したが、大会優秀選手に八田舞花さん（3年）、福元さやかさん（1年）が選出された。

とにかく鹿児島県で開催された第47回全国高等学校総合文化祭将棋部門兼第59回全国高等学校将棋選手権大会において、本校将棋部女子団体チームへ渡邊佳央さん、山崎恵美さん（3年）、天野詩音（2年）が、本人達も驚きの3位入賞を果たした。3人は共に高校入学から将棋を始めた素人。顧問の沖先生から屋休

みにモラった将棋のプリントを解いたり、将棋アプリを利用して実力をつけ、県大会を勝ち抜いてきた。

主将の渡邊さんにようると、全国に向けての目標は「まず1勝する」だったといふ。それを予選1回戦の徳島文理に3対0で全員1勝して勝つて達成した。2回戦で上田（長野）に敗

れたものの、3回戦の宮崎第一、4回戦の大分上野丘に競り勝って3勝1敗の12位で予選を通過した。

決勝トーナメントでは1回戦で第5シードの天理（奈良）、準々決勝で第4シードの志学館（千葉）に競り勝ち、準決勝で立命館慶祥（北海道）に敗れたものの、見事3位となつた。

指宿名物の蒸し風呂にも入り、リフレッシュできただという。

「まさか1勝」

全国総文祭

将棋部門
女子団体

高校から始めた将棋自分達でも故郷まきの3位に